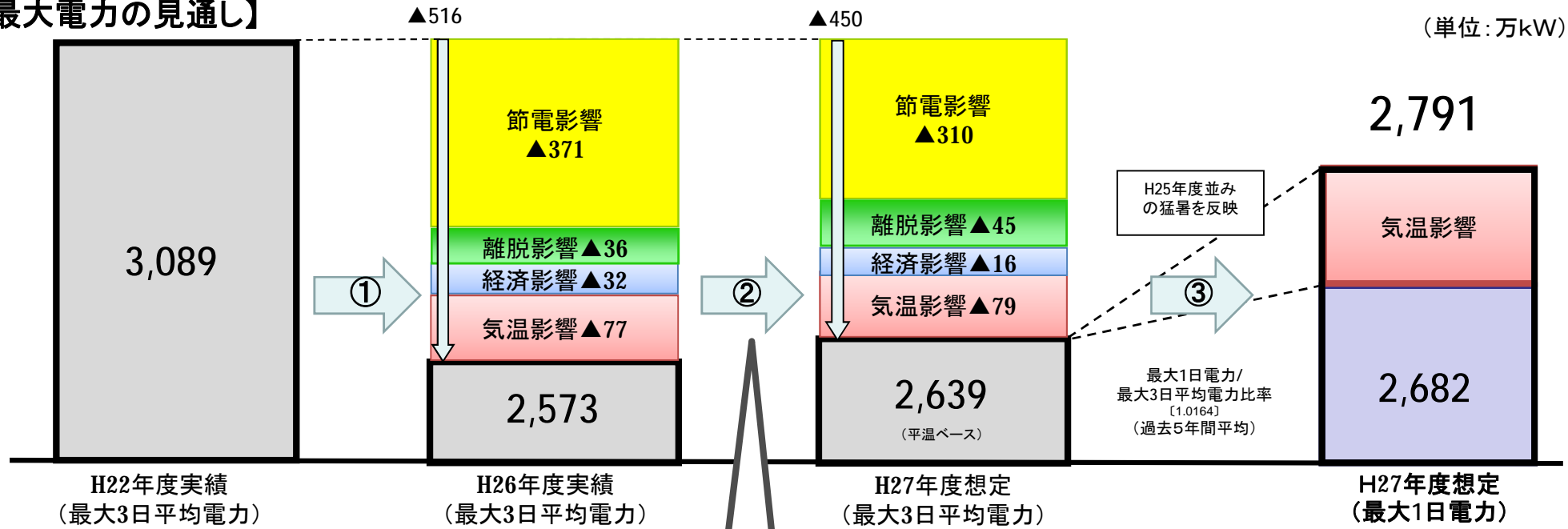


# 今夏の需給見通しについて

平成27年6月8日  
関西電力株式会社

# 今夏の最大電力想定の方

## 【最大電力の見通し】



### 【②-1:節電影響の見通し】

<節電アンケート結果(H27.2実施)> (万kW)

	H26年度 節電実績 (a)	節電アンケート結果		H27年度 節電影響 (a) × (b)
		節電継続率 (b)	サンプル数	
大口	▲156	83%	463件	▲129
小口	▲134	84%	395件	▲113
家庭	▲81	84%	1071件	▲68
計	▲371	84%	1929件	▲310

### 【②-2:経済影響の見通し】

(万kW)

項目	H26年度実績	H27年度想定
経済影響	▲32	▲16

↑ +16

(参考)

夏季最大3日平均電力の累積5日最高気温

H25年度	36.6℃
基準気温	35.2℃

- ①: H26年度における節電影響、気温影響、離脱影響、経済影響を、H22年度実績と比較して算出しています。
- ②-1: 今夏の節電影響は、至近のアンケート結果に基づいた大口、小口、家庭別の節電継続率により、▲310万kWと想定しています。
- ②-2: 今夏の経済影響は、今後の景気拡大を織込み、リーマンショックから大きく景気が回復したH22年度と比較すると依然としてマイナスであるものの、H26年度と比べ+16万kWとなる、▲16万kWと想定しています。
- ③: H25年度並みの猛暑を反映した今夏の最大1日電力は、最大1日電力/最大3日平均電力比率(過去5年間平均)を用いて、2,791万kWになるものと想定しています。

# 今夏の需給見通し(8月:原子力の再起動がない場合)

(単位:万kW)

	①昨夏想定	②今夏想定	差分 (②-①)	備考
供給力-需要 (予備率)	87 (3.0%)	84 (3.0%)		(凡例) ☆ 計上の考え方 ○ 昨夏との差分
需要	2,873	2,791	▲82	○H25年度並み猛暑を想定、H26年度節電実績等を反映(▲82)
供給力(合計)	2,960	2,875	▲85	
原子力	0	0	0	☆稼動していない原子力は、再起動がない場合として計上しない
水力	209	212	+3	☆天候によらず安定的な供給力として下位5日の平均から算定 ○市荒川発電所他 水車の羽根車取替による効率向上 等
火力	1,633	1,682	+49	☆設備更新工事の完了 ○姫路第二5号機(+6)、6号機(+43) ☆夏季補修の回避と定期検査の繰り延べ ※全台運転 ☆火力の増出力、緊急設置電源、吸気冷却装置の活用
揚水	414	368	▲46	☆想定需要とベース供給力から算定 ○応援融通受電量減少等に伴う揚水供給力の減(▲46)
新エネ	0.3	0.3	0	
他社・融通	704	613	▲91	
他社	537	570	+33	☆太陽光は高需要発生日の下位5日の平均から算定 ○固定価格買取制度による至近の普及状況等による増(+28)
水力・揚水	67	68	+1	
火力	416	420	+4	☆必要予備力を確保できるよう調達を計画 ○追加調達の減等(▲124)
新エネ	54	82	+28	(応援融通受電量 計48 (中部電力20、中国電力28))
融通等	167	43	▲124	

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

○今夏は、想定需要2,791万kW(1日最大電力・H25年度並みの猛暑)に対して、姫路第二発電所の設備更新工事、火力の夏季補修の回避、震災特例の適用による火力の法定点検の繰り延べ等を行っても、自社では供給力が不足する厳しい状況であり、他電力から応援融通を受電することなどにより、予備率3%を確保できる見通しです。

## 今夏の需給見通し(原子力の再起動がない場合)

(単位:万kW)

	7月	8月
需要	2,791	2,791
供給力	2,875	2,875
予備力	84	84
予備率	3.0%	3.0%

供給力内訳	原子力	0	0
	火力	1,687	1,682
	水力	232	212
	揚水	375	368
	新工ネ	0.3	0.3
	他社・融通	581	613

- 今夏、当社管内では電力を供給する上で最低限必要な予備率3%を確保できる見通しではありますが、需要の想定において、定着した節電分として310万kW（平成22年度最大電力比▲10.0%）を見込んでいることから、この夏において、着実な節電・省エネにご協力を賜りますよう、お願いいたします。
- さらに、発電所のトラブルなど、不測の事態により、電力需給のひっ迫が予想される場合には、お客さまのご健康に影響を与えない範囲、ライフライン機能等の維持や生産活動に支障のない範囲で、可能な限りの節電にご協力いただきますよう、お願いいたします。

## <参考：政府の節電協力要請内容および期間・時間>

要 請 内 容：国民生活や経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、「数値目標を伴わない」節電の協力を要請する。

※需給見通しには、平成22年度最大電力比で▲10.0%(関西電力管内)の定着節電分の需要減少を見込んでおり、これは、節電を行うに当たっての目安となる。

期 間 ・ 時 間：平成27年7月1日（水）～平成27年9月30日（水）までの平日9時～20時  
（ただし、8月13日（木）及び14日（金）を除く）

## <お客さまに節電にご協力いただくための主な取組み>

- ホームページにて、電力需給のお知らせ
- ホームページや検針票裏面等にて、節電・省エネのPR
- ご訪問や電気ご使用量のお知らせサービスの活用による節電・省エネのお願い
- 計画調整特約によるピーク時間帯の負荷調整の取組み（法人のお客さま）

## <需給ひっ迫時における需要抑制に向けた主な取組み>

- 瞬時調整特約による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- 通告ネガワット特約による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- BEMSアグリゲーターとの協業による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- 「みる電出かけてCOOLプロジェクト」による需要抑制の取組み（主にご家庭のお客さま）
- 「需給逼迫のお知らせメール」による電力需給のお知らせ

<b>電力需給のお知らせ</b> <b>(6/30[火]項目切替)</b>	<b>【掲載時刻】</b> 毎日9:30頃、18:30頃 <b>【掲載内容】</b> 毎日の需給予想 <b>【掲載項目】</b> 使用率(顔マークなし)[ピーク時、時間帯別]、予想最大電力、ピーク時供給力、需要予想[時間帯別]、需要実績[3分値、時間帯別]、供給力の内訳など(H26夏と同様)
<b>週間電力需給のお知らせ</b> <b>(6/30[火]掲載開始)</b>	<b>【掲載時刻】</b> 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) <b>【掲載内容】</b> 翌週(平日月～金)※の需給予想 <b>【掲載項目】</b> 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H26夏と同様)
<b>翌々週の需給見通し</b> <b>(6/30[火]掲載開始)</b>	<b>【掲載時刻】</b> 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) <b>【掲載内容】</b> 翌々週(平日月～金の1点情報)※の需給予想 <b>【掲載項目】</b> 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H26夏と同様)

※土日祝、8月13日(木)及び8月14日(金)は対象日から除く

## 【需給逼迫のお知らせメール】

電気の使用率が97%を超過する見込みとなった際、電子メールにてその時間帯をお知らせする「需給逼迫のお知らせメール」の新規登録の受付を、本日(5月22日(金))よりホームページにて開始いたします。(既にご登録いただいている場合は、改めてのご登録は不要です。)

### ■電力需給のお知らせ



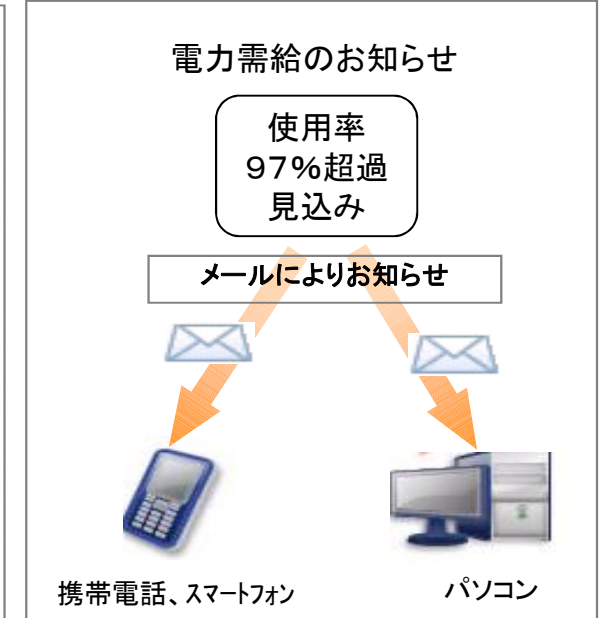
### ■週間電力需給のお知らせ



### ■翌々週の需給見通し



### ■需給逼迫のお知らせメール



※図はすべてイメージです

# BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制の概要

参考1

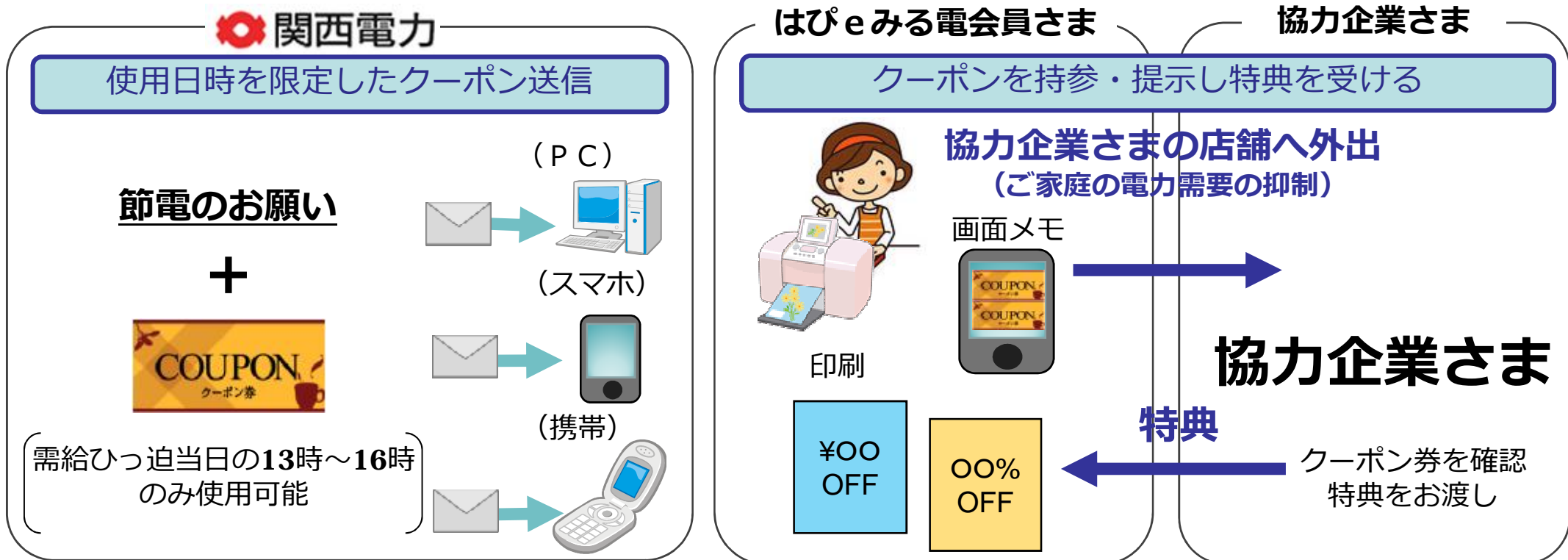
内 容	当社の負荷調整要請に基づき、ビル等の空調・照明設備等の負荷調整・制御を行うエネルギー管理システム(BEMS)を導入されたお客さまに対し、負荷調整を働きかけ、ピーク抑制を実施いただけるアグリゲーターを募集
アグリゲーターの募集方法および時期	募集の周知方法 : 当社ホームページを通じて行う 時 期 : 平成27年5月22日～平成27年6月5日
実施期間	平成27年7月1日～平成27年9月30日
アグリゲーターへの主な委託内容	①上記実施期間までに、負荷調整にご協力いただけるお客さまの選定と負荷調整可能電力の報告 ②負荷調整時間帯において、BEMSを活用して①で選定したお客さまの負荷調整を実施 ③負荷調整の実施結果の報告
負荷調整の依頼タイミング	原則、需給ひっ迫が予想される日の前日の午後
負荷調整時間帯	平日の9時～20時の間で、当社が要請する時間帯
負荷調整の対象となるお客さま	当社管内の特別高圧・高圧受電のお客さま

# 「みる電 出かけてCOOL プロジェクト」の概要

参考2

内 容	電力需給のひっ迫が予想される場合に、節電のお願いのメールと合わせて電力需給ひっ迫時にご利用いただけるクーポンを送付し、お客さまに外出していただくことで、電力需要を抑制する
対 象	近畿2府4県(※)「はぴeみる電」(電気ご使用量お知らせ照会サービス)会員さま ※大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県
実施期間	平成27年7月1日～平成27年9月30日
送付タイミング	電力需給のひっ迫が予想される場合 (本プロジェクトの実績検証のため、毎週金曜日に翌週の電気使用率が高いと想定される日に使用できるクーポンを送付する予定)
クーポン利用可能時間帯	事前に当社より通知した日の13時～16時

## 【取組みの概要】





# 中西6社における予備力

「電力需給検証小委員会」資料より作成

参考3

## [平成27年度夏季(8月)の需給見通し]

平成27年度	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	中西6社
供給力	2,725	2,875	580	1,217	616	1,693	9,706
最大電力需要	2,597	2,791	545	1,128	549	1,643	9,253
供給-需要	128	84	35	89	67	50	453
(予備率)	4.9%	3.0%	6.4%	7.9%	12.1%	3.0%	4.9%

## [平成26年度夏季(8月)の需給見通し]

平成26年度	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	中西6社
供給力	2,737	2,960	570	1,181	583	1,722	9,753
最大電力需要	2,644	2,873	548	1,134	559	1,671	9,429
供給-需要	93	87	22	47	24	51	324
(予備率)	3.5%	3.0%	4.1%	4.1%	4.3%	3.0%	3.4%

(東日本から融通あり)

## [平成25年度夏季(8月)の需給見通し]

平成25年度	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	中西6社
供給力	2,817	2,932	574	1,250	595	1,659	9,827
最大電力需要	2,585	2,845	546	1,131	562	1,610	9,279
供給-需要	232	87	28	119	33	49	548
(予備率)	9.0%	3.0%	5.2%	10.5%	5.9%	3.1%	5.9%

## [平成24年度夏季(8月)の需給見通し]

平成24年度	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	中西6社
供給力	2,785	2,542	578	1,235	587	1,574	9,301
最大電力需要	2,648	3,015	558	1,182	585	1,634	9,622
供給-需要	137	▲473	20	53	2	▲60	▲321
(予備率)	5.2%	▲15.7%	3.6%	4.5%	0.3%	▲3.7%	▲3.3%